



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2018年11月11日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:7名(うち子ども2名)、

指導員:3名

## テーマ 「紅葉・黄葉を楽しもう！」

木の葉が色づく季節となり、この日のテーマは紅葉&黄葉です。とはいうものの、今年は台風で葉が飛ばされたり、傷ついたりしたうえ、このところ暖かな日が続いて冷え込み不足のためか、色の鮮やかさが今一つといったところです。

ここは公園で珍しい樹木も植えられており、様々な色調が楽しめます。紅葉ではアメリカザイフリボク(緋色)、ペニバスマモ(モーブ)、アメリカハナノキ(朱色~黄)、ハナミズキ(ワインレッド)、ナンキンハゼやナルデ(赤紫~黄)などなど。ペニバトキワマンサクはもともと暗赤紫の葉ですが秋には明るい橙色に変わります。黄葉はまだ緑色の部分もありましたが、エノキ、ムクノキ、アカメガシワ、クワ、イチヨウ、ガガイモ、ヤマノイモなどが色づき始めていました。

河川敷ではネナシカズラとアメリカネナシカズラが同じアカメガシワに絡まって花を付けていました。よく見るとアメリカネナシカズラがネナシカズラに寄生している部分もありました。ネナシカズラは花盛りで、アメリカネナシカズラは花が終わりかけでしたが、両方を比べることができました。

参加した子どもたちはチョウやトンボを捕まえようと捕虫網を振ってくれました。セイタカアワダチソウの花にツマグロヒョウモンが多く来ていましたが、ヒメアカタテハ、キタテハ、キタキチョウやシジミチョウの仲間も見ることができました。

特筆すべきことはムラサキツバメが見られたことです。シジミチョウの仲間とムラサキツバメに似ていますが、より大型で尾状突起があります。参加者が捕獲して見せてくれました。山溪フィールドブックス「蝶」では、このムラサキツバメの分布は「本州(近畿地方以西)、四国、九州」となっていますが、2008年頃から愛知県でも見られているようですが、この辺りまで既に進出しているのですね。この幼虫の食草はマテバシイということですから、大野極楽寺公園に植えられているマテバシイで育ったものかもしれませんね。

トンボはさすがにこの時期になると種類が限られましたが、アキアカネ、マユタテアカネ、オオアオイトトンボを見ることができました。

今年は暖かいせい、昨年見られたツグミがまだ姿を見せていません。来月は冬鳥で賑やかになっていることでしょう。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

虫: ヤマトシジミ、ベニシジミ、ウラナミシジミ、ムラサキシジミ、モンシロチョウ、オオハナアブ、キゴシハナアブ、セイヨウミツバチ、マダラバッタ、コバネイナゴ

鳥: トビ、キジバト、ヒヨドリ、モズ、ホオジロ、シジュウカラ、ムクドリ、カルガモ、マガモ、カワラヒワ、シメ、コゲラ、ハシブトガラス

花: キダチコンギク、ヒメジョオン、ブタナ、ホトケノザ、アレチハナガサ、シロタモ



(ネナシカズラなどの花を観察)



(アメリカハナノキの紅葉)



(ネナシカズラ花)



(ヒメアカタテハ)



(ムラサキツバメ)